

## 第112回『謳粹会』の記

開催 日時 平成19年12月13日(木)

場所 新宿高野ビル6F [なだ万アプローズ]

ジャズなの？ いや違うね、明るくも格調高いピアノの演奏が店内に流れている、壁のところどころにはシャンデリアとは言わないまでも、ほのかに一隅を照らすムードのある照明、席は籐椅子状の丸テーブル、ところどころにランターン。

他の客は若い恋人だろうか静かなお二人連れ、もしくは仲の良い若い女性2~3人の仲間達、そうそう、初老のご夫婦らしき方もおられる。料理は黒い漆塗りの、重箱を平たく大きくしたような箱の中に、しゃれた器に小さく小さく、数種類盛られている、ままごとのよう。すべて、エレガントにてノーブル。

しかし、ご心配なく、我が謳粹会会員、上品さにかけては、その場の雰囲気高めこそすれ、損なうことは少しもない。

「なだ万アプローズ」の上品さを求めて、通常の例会では参加者は20名弱程度なのに、今回は30名の謳粹会紳士淑女が集まった。

楽しい音楽に身をゆだね、繊細な味の料理を楽しみ、友と語る、また楽しからずや。

我が謳粹会、しかし、ちょっとだけ違うところがある。それは、これまでの例会、沖縄、北海道、大阪、土佐の各郷土料理を楽しみながら、培ってきた酒飲力、飲み放題で鍛えてきた肝臓力。



他のお客さんは上品な雰囲気に身を委ねながら、料理をおいしくいただくために、ワイン等を嗜むように飲む。我が謳粹会は、ほとんどの会員が、酒を飲むのを楽しむのに料理をいただく。

ま、ということなのであるが、通常は世話役奉行がコントロールし、全体の流れを見て、ほどほどの酒量にする。

我が謳粹会はそのようには機能しない、何故ならば、肝心の世話役奉行が呑み助だからなのである。

あちこちから、テキーラだ、船中八策(日本酒)だ、ワインだとの声に、奉行さんニコニコ顔で、なんとなんとご自分で追加のワインを注文する。

アホかねえ、ところで、2007年度の漢字は「偽」だそうである。いろいろありましたからねえ、「ミートホープの牛ミンチ偽装」、「白い恋人」、「赤

福」、そして「船場吉兆」お前もかとの感じ。

我が方？そうです、今回の会費は大幅の追徴となりました、いやはや、ここにも偽ありか、嗚呼！！。

(31年露木 修記)

## ◎本日の料理

### 一、主采

- 1、お造り
- 2、煮物 南瓜饅頭、銀餡掛け、青菜煮浸し
- 3、焼物 まながつお幽庵焼、鶏湯葉巻、  
山芋吹き寄せ揚げはじかみ
- 4、止肴 切干大根

### 二、食事

海老天茶漬、海苔あられ

### 三、デザート

アイスクリーム、カフェ

## ◎本日のお酒

### 1、ビール

生ビール

### 2、日本酒

\*五郎兵衛 \*司牡丹

### 3、ワイン

\*白ワイン \*赤ワイン

## ◎出席者

松尾 一郎 (昭20)、関 孝之 (昭31)、横手 一郎 (昭31)  
池澤 卓 (昭28)、露木 修 (昭31)、木口 健児 (昭36)  
池田 三男 (昭29)、中村 信秀 (昭31)、田中丸正治 (昭36)  
西川恵美子 (昭29)、中本 青士 (昭31)、若山 宏 (昭36)  
米山 賢二 (昭30)、沼尻 正信 (昭31)、北川 正之 (昭37)  
大野 金一 (昭31)、蓮 幸治 (昭31)、池和田 暁 (昭40)  
皆藤 祐治 (昭31)、高野 久弘 (昭31)、広瀬 巳良 (昭40)  
菊池 清 (昭31)、武藤 明 (昭31)、長戸 琴 (昭41)  
郡司 賢一 (昭31)、山田 晴康 (昭31)、久松 信明 (昭41)  
酒井 隆二 (昭31)、山本 嘉子 (昭31)、安井 恵子 (昭41)

以上